

事務事業評価表 平成23年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 青少年健全育成の推進
 基本事業 青少年健全育成活動の充実

事業名 **成人式開催事業**

[0464]

部名	教育部	事業開始年度	昭和33年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 成人式実行委員会
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 公民としての権利と義務の再認識の場とし、自律ある社会人としての自覚を促す。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 新しく成人となる対象者が大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする集いの場を提供するとともに新成人となる実行委員を募集し、内容などを企画したつどいを実施する。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	実行委員数	人	9	7	9	9
対象指標2	新成人数	人	1,744	1,706	1,589	1,604
活動指標1	補助金額	千円	242	242	240	240
活動指標2						
成果指標1	成人のつどい参加者数	人	1,072	1,067	1,030	1,002
成果指標2	参加率	%	61.5	62.5	64.8	62.5
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	449	440	429	443
正職員人件費 (B)		千円	2,090	1,660	1,612	1,629
総事業費 (A) + (B)		千円	2,539	2,100	2,041	2,072

費用内訳	
22年度	需用費 109千円、役務費 80千円、負担金 補助及び交付金 240千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	<p>近年、全国的に成人式に参加した成人のモラルが問題になっている。江別市においても過去に一部そのような行動があったことは否めないが、従事職員等の注意によって抑制されて、その件数も減る傾向にある。他方では、成人式を真面目に受け止めていこうとする新成人が大多数であることや、ご家族の方々が、式典を心待ちにしていることも事実である。</p>
--------	--	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は？

・成人の日の行事について 文部事務次官通達
 ・自治体の自由裁量であるが、当事者である新成人の家族等からのニーズは例年多い。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は？

式典を実施する事のみで、公民としての権利と義務を自覚させることは困難をとまなう

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は？

儀式・式典要素が強い事業ではあるが、参加率60%を超える事ができた。少子化の中、参加者数はほぼ横ばいではあるが、参加率は増加している。

(4)成果が向上する余地(可能性)は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は？

今後の動向を見極めながら、地域ぐるみでの実施や市民協働による手法に転換することで効果が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)

ある
 ない

理由・
 根拠は？

新成人に対する記念品、式典後のアトラクションを廃止したため、単位あたりのコストは極限に達しているが、現状の実施方法では、実行委員会の事務局経費は縮減も考えられる。